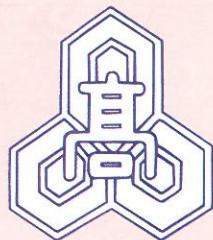


大田高校PTA広報



泰山木

Taisanboku

第99号

平成26年3月1日

島根県立大田高等学校
PTA総務委員会



この風土は石見人特有の気質を育みました。松江での勤務が長かつた私が、同じ山陰に住む出雲人との比較で感じてきた石見人の気質は、なかなか「思つたことをそのまま口にする」「言葉が荒っぽい」「せつかちである」「頑固である」「我慢強い」といったものです。この中で人間の生き方・在り方の根幹をなすものとしては、「頑固である」「我慢強い」でしょうか。今日旅立つ百四十六名の卒業生の皆さんにもこの気質が受け継がれていると思います。

重厚な生き方が敬遠されがちな昨今の風潮の中で、頑固に我慢強く生きることは、なかなか難しいことかもしれません。しかし、人生の難局に遭遇したときには、石見人らしく勇気をもつて頑固に我慢強く立ち向かってもらいたいと思います。

私が自分の住んでいる地域を強く意識したのは高校時代でした。現代文の授業で『舞姫』を習った時に、森鷗外の「余ハ石見人森林太郎シテ死セント欲ス」という遺言の存在を知りました。十歳で津和野から上京する鷗外ですが、ふる里に対する思いは人一倍強かつたようです。そのことを知つて以来、自分も石見人だという意識が私の心のどこかに残つていたように思います。

石見の地は山がちで雨や雪の降る日が多く、地味もあまり肥えていないという特徴があります。私の心に浮かぶ石見地方の原風景は、時雨模様の空の下で黙々と生業に励む人々の姿です。この冬、島根県が女性の美肌日本一として脚光を浴びました。県民の一人としてこんなに嬉しいことはありません。雨や雪の降る日が多く、肌の乾燥が抑えられることが大きく作用したようです。

石見人らしく
校長 白井 泉

新たなる旅立ちに向けて

**三年一組 担任 田中 格
副担任 角田 裕之**

はなれて

担任 田中 格

四月からの赴任先が決まった。
「大田高校だ。何年ぶりかな。」

浜田で一人暮らしをしていた母も含め、
六人での新たな生活を始める。まずは住
む場所を探さねば。出雲市に借家が見つ
かった。中学二年生の長男、小四の二男
の転校手続き、段ボールの海。怒濤の
日々が始まる。津和野から出雲へ。

廊下のきしむ音とともに、薄れかけて
いた記憶が蘇ってくる。七年ぶりである。
「この校舎、壊されるのか。」「やった、担任をさせてもらえるんだ。」

一気に大田高校を近くに感じた。そこ
からの記憶ははつきりしない。帰宅する
と走って出迎えてくれる柚月（ゆづき）が
三歳になつたことだけはこの年の記念と
して記憶に留めておきたい。

最近、出雲から大田への道すがら、図
書館で借りたCDを聞く。
「その人の生涯が豊かであったかどうか
は、その人がどれだけこの世で「会つ
たか」によって測られるように私は感じ
ている。人間にだけではない、自然や
出来事やあるいはもっと抽象的な魂や精
神や思想に触れることだと私は思うので
ある。



小さなきっかけ

担任 川上 智恵

私たちの身の周りには、もしかし
たら今後、自分自身の人生に大きな
影響を与えるかもしれない小さなきっかけ
が溢れていると思います。その
ようなきっかけに自分自身で気づく
こともあるれば、身近にいる友人や家
族そして情報満載のメディアを通し
て教えられることがあるでしょう。
私の場合、どのようなきっかけが周
りにあつただろうか、と思い返して
みると、特に印象に残っている出来
事がひとつ思い浮かんできます。

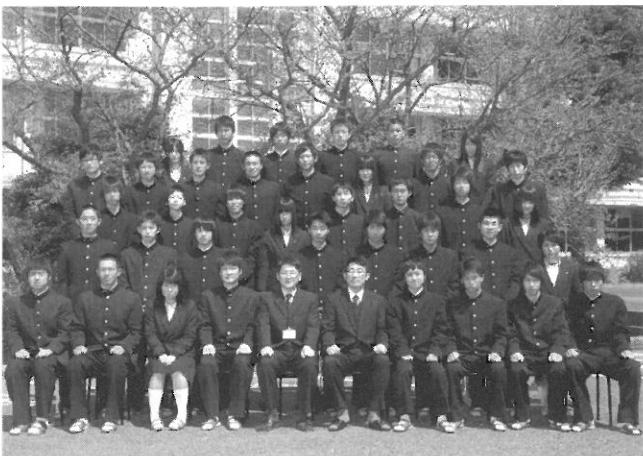
**三年一組 担任 川上 智恵
副担任 坂井 樹史**



大学一年生の春休みに、私は
三週間の語学研修に参加しまし
た。私がお世話をしたホスト
ファミリーは以前、北海道に滞
在していたことがあります。日本の
こともよく知つておられる活動
的なアメリカ人ご夫婦でした。
ある土曜日に、日本食を持ち寄
るパーティが開催されることに
なり、私もホストファミリーも
その週末を心から楽しみにして
いました。しかし、意思疎通が
うまくいかず、ホストファミリー
はそのパーティに参加できなかつ
たのです。私は自分自身の思
違いを非常に悔やみました。冗
談ではないのですが、翌日は日
曜日でホストファミリーに教会
に連れて行ってもらい、心の中
は懺悔の気持ちでいっぱいでした。
この体験を通して、私は英
語で的確にコミュニケーション
を図ることの重要性を痛感しま
した。

大田高校を旅立つ皆さんむこ
れからの人生、良いことも悪い
ことも含めて様々なことがある
でしょう。身の周りに溢れる小
さなきっかけに敏感になり、自
分の夢に向かって挑戦し続けて
ください。皆さんの活躍を願つ
ています。卒業おめでとう。

大学一年生の春休みに、私は
三週間の語学研修に参加しまし
た。私がお世話をしたホスト
ファミリーは以前、北海道に滞
在していたことがあります。日本の
こともよく知つておられる活動
的なアメリカ人ご夫婦でした。
ある土曜日に、日本食を持ち寄
るパーティが開催されることに
なり、私もホストファミリーも
その週末を心から楽しみにして
いました。しかし、意思疎通が
うまくいかず、ホストファミリー
はそのパーティに参加できなかつ
たのです。私は自分自身の思
違いを非常に悔やみました。冗
談ではないのですが、翌日は日
曜日でホストファミリーに教会
に連れて行ってもらい、心の中
は懺悔の気持ちでいっぱいでした。
この体験を通して、私は英
語で的確にコミュニケーション
を図ることの重要性を痛感しま
した。



旅立つ皆さんへ

担任 新道 博行

三年二組 担任 新道 博行
副担任 今若 誠己

この原稿を書いている時期、皆さんは合格に向け必死に勉強をしている。希望通り第一志望に進む生徒もいれば、残念にもそうでない生徒もいる。こんなに苦労しなくても簡単に進学できた。始めから進路をえていれば辛い思いをしなくても良かった。頑張りは無駄だった。などいろいろな思いを抱いていることだろう。果たして本当にそうだらうか。

私は苦しくても最後まで走り続けた君たち、いつか会った時にきっとその頑張った意味を聞かせてくれる日が来るだろう。自分の成長、素晴らしい出会い、実現した夢・・・

大高では、逃げ出したくなつても守ってくれる支えてくれる仲間がいた。支えもらつたと思う人は、次は仲間を支えてみよう。支えることが多かつたと思う人は、仲間に甘えるのも良いかもしれない。励まし合いお互いを高め合う生徒に出会えて、とても充実した時間を過ごすことができた。ありがとう。

やるべきことを必死にやり、その結果、現時点で辛い現実に直面していたとしても、必ずその苦労や頑張りの必然が分かる日が来る。君たちの頑張りは無駄なことは一つもないと声を大にして言いたい。

自身、皆さんと過ごした時間の中で決して楽しいことばかりではなく、辛いこと苦しくて逃げ出しがちになることもあった。しかし踏ん張つてみると少し視野が広がっていることに気づく。このために与えられた難題、課題だったのかと気づかされた。そうやって私自身成長できた三年間であった。

今は苦しくても最後まで走り続けた君たち、いつか会った時にきっとその頑張った意味を聞かせてくれる日が来るだろう。自分の成長、素晴らしい出会い、実現した夢・・・

神の手...というのは大きさですが、誰もが、その人だから出来ること、その人にしか出来ないことを必ず持つていると思っています。では、自分が何のそれは?と問われると...難しい。この問題の解法の一つは、いろんな人と出会い、いろんな経験をするこ

おめでとうございます

担任 阪本 美樹

三年四組 担任 阪本 美樹
副担任 中島眞由美

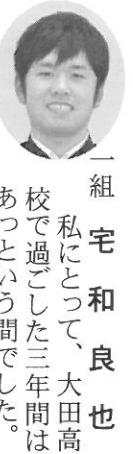


とではないかと感じています。その中で、周囲からヒントをもらい、自分の中の答えが少しずつ見えてくるはずです。皆さんには、まだその解法の途中。焦らず、春からはそれぞれが選び進んでいく新しい場所で、引き続き取り組んでくださいね。そして、自分の何かが見えてきた時、使命感を持ちその力を活かしてください。使命感がある人は強く生きられます。みなさんが、それの使命感を感じ、力強く人生を生き抜いてくれることを願っています。



三年生からのメッセージ

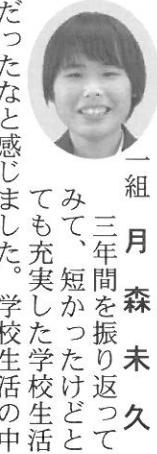
高校生活を振り返って



一組 宅和良也

ですが、この三年間で私は今まで以上に大きく成長することができました。私が成長できたのは、私一人の力ではなく、先生方や友達、部活動の仲間といつた多くの方々に支えていたからこそです。そんな大田高校に来てよかつたと強く思います。そして、これから先自分の夢の実現のために大田高校で学んだことを活かして頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

一組 月森未久



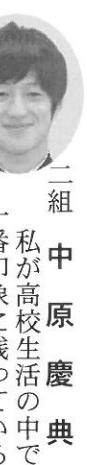
春からは、新しい環境での生活が始まります。これから、乗り越えて行かなければならぬことが増えてくると思いません。その中で、くじけずに学校生活で学んだことを生かし、支えてくれたと思いません。家族、先生方、友達に感謝の気持ちを忘れずにがんばります。たとえ思いました。

一組 安田光

私の大田高校での三年間は毎日が充実した日々でした。日々充実した生活を送ることができたのは、みみ

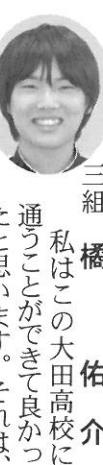
なさんが私にふんばる力を与えてくれたからだと思います。部活動と勉強を両立させることはとても難しいことで、私がとつてみたいへんなことでしたが、逃げ出したくなるたびに周りからパワーをもらい、何度も励ましの言葉をもらつてそれを自分のやる気にすることがであります。今まで培つてきたものをこれから糧にして頑張ります。

二組 中原慶典



私は、バスケットボール部の主将を務め、チームをまとめることがうまいことは部活動です。しかし、チームメイトは、そのような状況の中でも、私のことを信じて最後までついてきてくれました。三年間続けてきた部活動を通して、最高の仲間を持ったことは一生の宝物です。高校卒業後も、部活動を共にした仲間との思い出を胸に、様々なことに挑戦し、頑張つていきたいです。

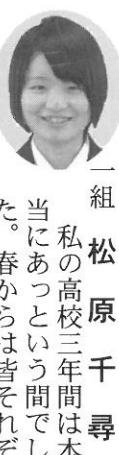
二組 橋佑介



私はこの大田高校に通うことができて良かったと思います。それは、大田高校で経験した三年間は、とても良い思い出となりました。この春からは、皆が別々の道を進んでいきます。高校とは違う、全てが新しい環境となります。その中で自分がやりたいを見つけ、楽しんでいこうと思います。私を支えてくださった先生方、友達や後輩、家族への感謝の気持ちを忘れず、自分らしく頑張ります。

後輩へのメッセージ

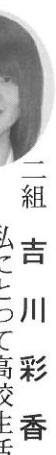
旅立ちによせて



一組 松原千尋

私の高校三年間は本当にあつという間でした。春からは皆それぞれ自分の道を進みます。私の三年間は春からは暮らす環境が変わり、悩むことが増えていくと思います。でも、目標に向かつて一生懸命に学び続けていきたいです。高校生活での経験をこれからの生活に活かしていきます。支えくださった全ての人々に感謝し、これからも頑張つていきます。

二組 吉川彩香



私は、長いようで本当に短くあつという間に過ぎていきました。特に、受験生としてこの一年間は、とても早かつたようになります。大田高校で経験した三年間は、とても良い思い出となりました。この春からは、皆が別々の道を進んでいきます。高校とは違う、全てが新しい環境となります。その中で自分がやりたいを見つけ、楽しんでいこうと思います。私を支えてくださった先生方、友達や後輩、家族への感謝の気持ちを忘れず、自分らしく頑張ります。

三組 大利拓海



今、三年間を通して感じているのは部活動で話しあつたり、一つの目標に向かうということです。仲間で話しあつたり、一つの目標に向かうと、それが部活以外の日常生活では体験する機会がなくすごくいい経験になりとても充実した学校生活が送れたと感じています。部活動と勉強の両立は本当に大変ですが、必ず実現してください。そしてみんなの目標を必ず実現してください。応援して

らはあつという間でした。なので皆さんには悔いの残らないように過ごしてほしいです。勉強や部活などに一生懸命取り組んでみてください。そして、何か熱中できるものがあると「頑張ろう」という気持ちになれるので、是非見つけてほしいです。きっといつかあなたに支えられてきました。春からは皆それぞれ自分の道を進みます。私の三年間は春からは暮らす環境が変わり、悩むことがあります。今まで培つてきたものをこれまでの糧にして頑張ります。

卒業生へ贈る言葉 保護者より

大田高で良かったよな

上 西 宏

我が家は市外の出身である母以外は本校の卒業生であり、妻の実家も同様です。こんな環境でしたので、この度卒業する長男が中学三年時に、「大田高へは行かない」と言いました。突然としたことを思い出します。彼は、県外のサッカーの強豪校（角田先生ごめんなさい）で自分の力を試したいという夢をもち、また、実際に声をかけていたいた学校もあり、その思いを強くしていました。進路決定に際しては、担任、部活動の顧問、本人、私と妻の五者面談まで聞いていたとき、彼にとつては決して本意ではなかつたと思いますが、最終的には本人の決断？で本校へ進学しました。

そんな経過で入学しましたので、心の整理をつけて新たな学校生活に臨めるのか心配をしましたが、仲間たちに支えられ、一年生の後半からは将来の進路について考えはじめ、最終的に決断した進路に向けて、彼自身の努力はもとより、先生方の献身的なご指導や、クラスの仲間たちとの切磋琢磨により、夢をかなえるためのスタートラインに立つことができました。

誰しも迷い悩んで自分の進むべき道を決断します。選んだ道が正解なのかは誰にもわかりません。でも、自分が下した決断に自信を持ち、夢の実現に向けて、これから的人生を力強く歩ん

でほしいと思います。
終わりに、お世話をなった先生方に感謝申し上げ、卒業生の皆さんに幸多かれど心よりお祈りいたします。

夢の実現に向けて

藤 原 芳 樹

高校入学と同時に、瓶雲寮に入寮し、親から離れた生活も早いもので三年が経過しました。初めて親から離れての生活で、期待と不安を胸に始まつた高校生活だったと思います。寮までの送り迎えの車中で、学校や寮での出来事を楽しそうに話す息子に、充実した高校生活が送れていると嬉しく感じるとともに安心し、テスト前になると、自宅から寮への移動時間を睡眠時間に充て、頑張っている姿にわが子ながら感心したこと懷かしく思います。

部活動では剣道部の主将として、部員の話をよく聞き、チームを良くまとめていました。

勉強と部活動を両立し、無事に卒業の日を迎えることができるのも、指導頂いた先生方、先輩・後輩や周囲の色々な方々に助けられたからだと思います。これから的生活においても、色々な人とのかかわりあいの中で、感謝の気持ちを忘れず、人の気持ちを思いやることで生きる人間になつて欲しいと思います。

春からは、自分の決めた夢の実現に向け、新たな一步を踏み出しますが、人間が一人でやれることは限界があります。自分一人だけではなく、周囲には新たな友人や先生方もおられ、一番の応援者である家族も居ます。自分の思

健闘光る!!

(12月～2月の部活動)

文化部

【吹奏楽】

▽全日本アンサンブルコンテスト島根県大会(12月22日 悠邑ふるさと会館)

木管8重奏 金賞 中國大会出場
打楽器6重奏 金賞

▽第46回島根県高校美術展
入選 飯塚 沙恵・片山 空
賀戸 亜子・西谷 紗綾子

▽女子個人戦 ベスト16 2年 藤原叶子
男子個人戦 第2位 2年 小谷耕生

▽中国新人大会出場権獲得
女子個人戦 ベスト16 2年 藤原叶子
男子個人戦 ベスト16 2年 吉賀 大田 0-2

▽島根県高等学校新人バレーボール大会
大田 0-2 松江工業

▽男子バレーボール
女子個人戦 ベスト16 2年 藤原叶子
男子個人戦 第2位 2年 小谷耕生

▽島根県高等学校新人バレーボール大会
大田 0-2 吉賀 大田 0-2

▽島根県高等学校新人バレーボール大会
大田 0-2 松江工業

▽島根県高等学校新人バレーボール大会
大田 0-2 飯南 大田 0-2 大社 予選敗退

▽島根県高等学校新人バレーボール新人
大田 0-2 大社 予選敗退

▽男子バスケットボール
大田 0-2 大社 予選敗退

▽島根県高等学校バスケットボール新人
大田 0-2 大社 予選敗退

女子団体戦	1回戦 大田 2-1 隠岐水産
男子団体戦	2回戦 大田 1-1 明誠 代表戦で負け
男子個人戦	引田 祥山 無差別級 2位
女子個人戦	井原 美月 70kg級 3位

運動部

▽第32回全国高等学校弓道選抜大会
(12月20～22日 大阪市中央体育館)

男子個人 厚朴 信宏 予選敗退

男子団体戦 2位

2回戦 大田一三刀屋 2人残し勝ち

準勝戦 大田一出雲工業 1人残し勝ち

決勝戦 大田一平田 4人残し負け

▽中国高等学校新人テニス大会
ダブルス

大谷・小原 1-6 広島なぎさ

2年生 小原 ベスト8

1年生 渡邊 ベスト32

▽島根県高等学校サッカー新人大会
(12月14日 松江商業)

2回戦 大田 0-4 大社

▽島根県高等学校サッカー新人大会
ダブルス

宇谷・安藤ペア 0-4 松江工業

2年生 小原 ベスト8

1年生 渡邊 ベスト32

▽島根県高等学校サッカー新人大会
(12月14日 松江商業)

2回戦 大田 0-4 大社

【学校評価アンケートの結果について】

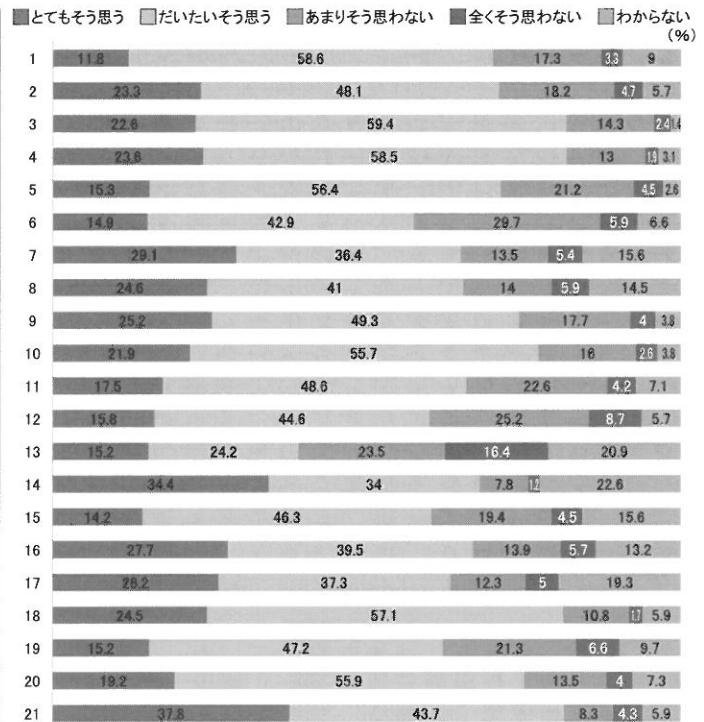
本年度の学校評価アンケートの結果をお知らせします。「学校評価」の制度は、本年度の本校の学校活動を、生徒・保護者・教職員が様々な項目で評価し、その結果を次年度の目標設定や改善策に生かして、より充実した教育活動の実践につなげていくものです。

今後は、このアンケート結果をふまえて、各担当分掌、学年会で反省と改善策を検討し、2月下旬の学校関係者評議委員会の討議を経て、3月中旬に取りまとめて公表いたします。

保護者の皆様にはアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

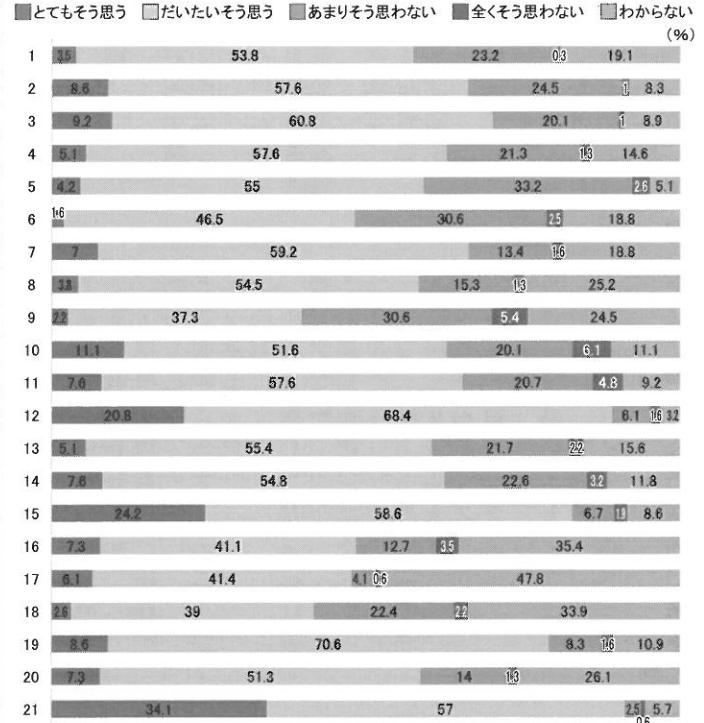
平成25年度 大田高校に関する生徒によるアンケート（全体：424名回答）

	評価項目	平均
1	本校は、今年度の重点目標（授業の工夫・改善、学校行事への主体的参加、人権を尊重する生活態度の育成など）を分かりやすく伝えていますか。	2.9
2	本校には、特色や良さがあると思いますか。	3
3	本校には、学習にきちんと取り組める施設・設備が整えられていますか。	3
4	本校は、生徒の安全確保を適切に行っていると思いますか。	3.1
5	授業（内容・進度など）に満足していますか。	2.8
6	授業が分からないとき、十分なケアをしてもらっていると感じますか。	2.7
7	部活動の現在の活動内容に満足していますか。	3.1
8	部活動の活動時間は適切であると思いますか。	3.0
9	服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていると思いますか。	3
10	進路講演会や学年集会等を通して、進路に関する情報は十分得られましたか。	3
11	キャリア教育（進路学習）を通して、自分の生き方なり方について考えることができますか。	2.9
12	土曜補習（全学年対象）や放課後補習（3年対象）は有意義ですか。	2.7
13	スクールカウンセラー（案内の配布・申込方法・実際の相談等）について知っていますか。	2.5
14	保健室では適切に対応してもらっていると思いますか。	3.3
15	健康・環境に関する必要な情報が得られていますか。	2.8
16	図書室は利用しやすいですか。	3
17	図書館には皆さんの読書意欲を喚起するような本が入っていますか。	3
18	学校は面談等を通して生徒理解や個に応じた進路支援に努めていますか。	3.1
19	学校は生徒の学校行事やボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	2.8
20	学校は皆さんの学習習慣や生活習慣の確立のために努力していると思いますか。	3
21	総合的に見て、本校に入学して良かったと思いますか。	3.2



平成25年度 大田高校に関する保護者によるアンケート（全体：314名回答）

	評価項目	平均
1	本校は、今年の重点目標（授業の工夫・改善、学校行事への主体的参加、人権を尊重する生活態度の育成など）を分かりやすく伝えていますか。	2.7
2	本校には、特色や良さがあると思われますか。	2.8
3	本校には、学習にきちんと取り組める施設・設備が整えられていると思われますか。	2.9
4	本校は、生徒の安全確保を適切に行っていると思われますか。	2.8
5	何か心配なことがあれば、学校に気軽に相談することができますか。	2.6
6	P T A 総会、授業公開週間など保護者対象の行事は、有意義なものになっていますか。	2.6
7	「泰山木」・大田高校ホームページは、学校の様子をよく伝えていますか。	2.9
8	本校の授業（内容・進度など）に満足しておられますか。	2.8
9	授業が分からないとき、十分なケアをしてもらっていると感じられますか。	2.5
10	部活動の現在の活動内容に満足しておられますか。	2.8
11	部活動の活動時間は、適切であると思われますか。	2.8
12	服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がなされていると思われますか。	3.1
13	保護者進路説明会やホームページ等を通じて、進路に関する情報は得られましたか。	2.8
14	キャリア教育（進路学習）を通して、お子様が自分の将来について考えようになりましたか。	2.8
15	土曜日補習（全学年対象）や放課後補習（3年対象）は、お子様にとって有意義ですか。	3.1
16	スクールカウンセラーの内容（案内の配布・問い合わせ方法・実際の相談等）について承知されていますか。	2.8
17	保健室の生徒への対応は適切だと思われますか。	3
18	健康・環境に関する必要な情報が得られていますか。	2.6
19	本校は、面談等を通して生徒理解や個に応じた進路支援に努めていますか。	3
20	本校は、生徒の学校行事やボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	2.9
21	総合的に見て、お子様を本校に入学させて良かったと思われますか。	3.3



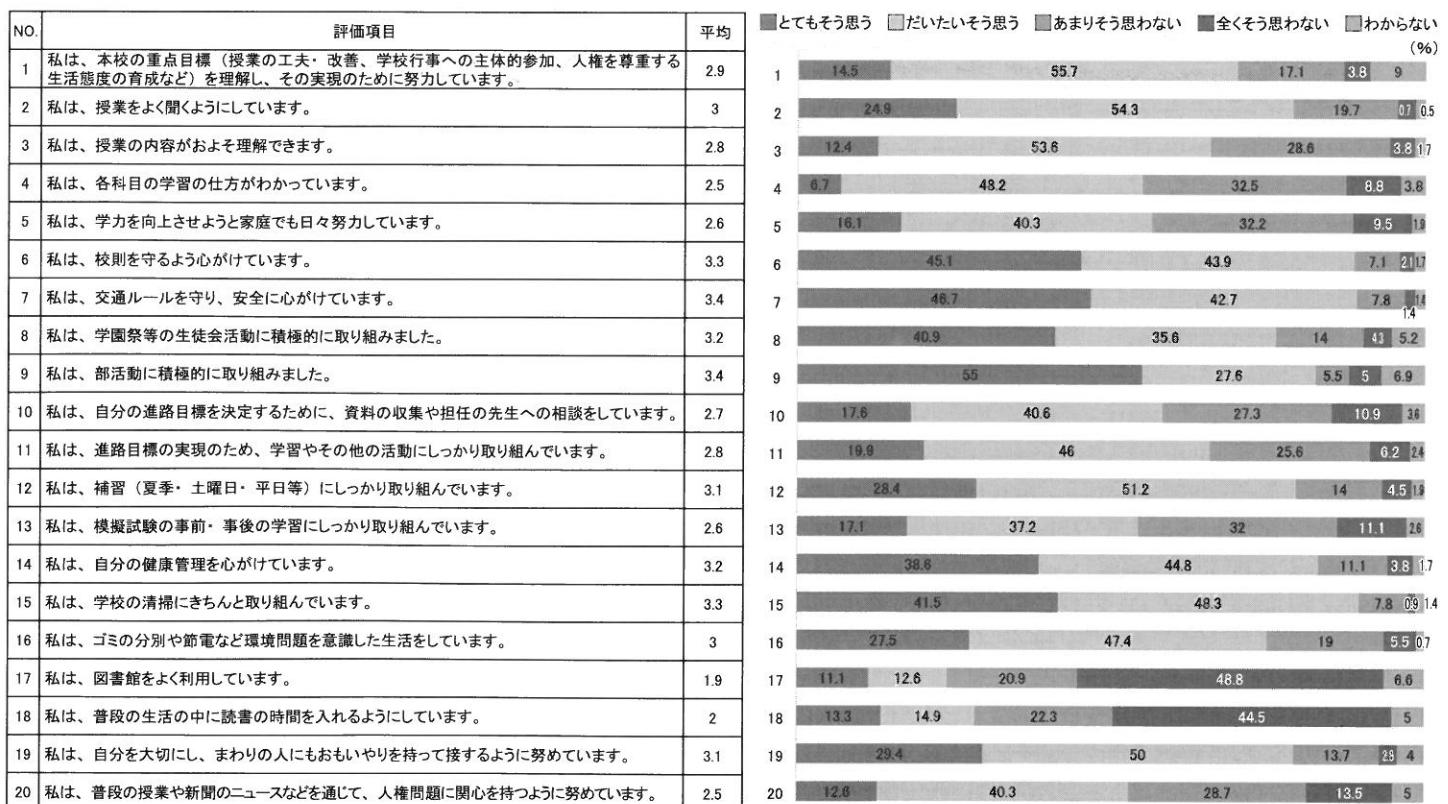
平成25年度 学校評価（教職員による自己評価）(34名回答) NO. 1

		評価項目	平均	(%)				
重点目標	重点目標			十分できている	だいたいできている	やや不十分である	不十分である	わからない
		授業の工夫・改善～よりわかる授業を目指して～	2.8	5.9	64.7	20.6	23.5	9.9
総務部	やる気を育てる生徒指導の充実	生徒の意欲とやる気を引き出すことをを目指した生徒指導に教員全体で取り組めたか。	2.8	23	79.4	8.8	5.9	23
	タイムリーな進路指導の実現	早期のキャリア教育やタイムリーな進路情報の提供により生徒の進路意識を高めるための取組ができたか。	2.9	5.9	61.8	17.6	14.7	1.4
	自他の生命・人権を尊重する生徒の育成	生徒の人権意識を高め、互いを尊重する環境づくりができたか。	2.9	2.9	82.4	29.2	8.8	1.4
	積極的な生徒募集と広報活動	地域との連携やオープンスクール・学校説明会などで積極的な広報活動・情報発信ができたか。	3.0	5.9	79.4	5.9	8.8	1.4
	校内組織が有機的に機能していくように校務分掌・学年会等との調整を図り、社会変化に対応した活力ある学校運営を支援する。	校務分掌・学年会等との調整を図り、学校行事や会議が機能するよう支援していたか。	3.1	12.1	81.8	10.1	6.1	1.4
教務部	保護者や地域社会と連携して、よき伝統に学びながら、社会に開かれた学校作りを支援する。	P T A 等との連携を通して、社会に開かれた学校作りを支援していたか。	3.0	9.1	72.7	12.1	6.1	1.4
	保護者や地域社会に対して、各種の情報を提供する。	「P T A 広報・泰山木」「大田高校H P」「授業公開週間」などを通して、各種情報を提供していたか。	2.9	12.1	63.6	24.2	6.1	1.4
	授業公開や中高連携などを通じて授業の工夫・改善を図る。	授業公開や中高連携などを通じて授業の工夫・改善を図ったか。	3.0	20.6	61.8	11.8	5.9	1.4
	習熟度別学習や個に応じた指導を充実させ学力向上を図る。	習熟度別学習や個に応じた指導を充実させ学力向上を図ったか。	2.9	8.8	70.6	20.6	6.1	1.4
生徒指導部	教育課程を修正するとともに運用上の整備研究に努める。	教育課程を修正するとともに運用上の整備研究に努めたか。	3.1	8.8	88.2	2.9	6.1	1.4
	オープンスクールや学校案内を充実させ生徒募集に努める。	オープンスクールや学校案内を充実させ生徒募集に努めたか。	3.1	14.7	76.5	29.2	23	1.4
	基本的生活習慣の確立と規範意識の向上を図り、充実した学校生活への支援と明朗で規律ある生活態度を育成する。	基本的生活習慣の確立ができたか。	3.1	15.2	81.8	3.0	6.1	1.4
進路指導部	安全で安心な学校生活を保障するとともに、交通マナーの向上と人権擁護意識の高揚を図る。	交通マナーの向上を図ることができたか。	3.1	15.2	69.7	9.1	6.1	1.4
	部活動・生徒会活動等の充実を図るとともに、地域社会、家庭、関係諸機関等との連携を強化する。	学園祭を充実させることができたか。	3.3	30.3	69.7	2.9	6.1	1.4
	進路実現のために必要な学力向上に努める。 ・効果的な補習の編成により受験に対応できる学力保障を図る。 ・生徒の学力分析を迅速に行い教科指導に活かす。 ・教職員の研修の支援に努める。	補習や学力分析は生徒の学力向上に結び付くものであったか。	2.9	9.1	72.7	18.2	6.1	1.4
保健部	適切な進路情報の提供に努める。 ・講演会や説明会を計画的に実施し、タイムリーな情報の発信を図る。 ・ホームページを活用した情報提供を工夫する。	進路講演会や進路説明会によって生徒・保護者に適切な情報の発信ができたか。	3.2	18.2	72.7	30.6	6.1	1.4
	キャリア教育を推進する。 ・総合的な学習の時間やL H R を活用した進路学習を充実させ、低学年からの進路意識の向上を図る。	キャリア教育により生徒の進路意識は向上したか。	2.7	6.1	57.6	24.2	10.9	1.4
	心身の健康の保持・向上への支援をする。	生徒の健康状態把握に努め、異状の場合は、関係教員、保護者と連携をとれたか。	3.3	23.5	70.6	5.9	2.9	1.4
	校内衛生環境の向上に努める。	教室や清掃担当箇所の美化、安全の維持に努めたか。	3.0	20.6	58.8	17.6	2.9	1.4
図書視聴覚部	教育相談の充実と情報の共有を図る。	生徒や教員の相談に適宜対応できたか。	3.2	20.6	73.5	5.9	2.9	1.4
	広報活動の充実に努める。	H P や校内L A N 等を利用し、保護者や教員に情報提供できたか。	3.1	17.6	58.8	11.8	11.8	1.4
	図書館活用教育を推進する。 ・学年に応じた体系的利用指導 ・目的・用途に応じた活用法の指導と支援 ・図書館を活用した授業の支援	生徒・教職員の図書館利用を支援し、図書館活用教育を推進したか。	3.2	27.3	60.6	9.1	3.0	1.4
	生徒・教職員の図書館利用を支援する。 ・読書活動の支援 ・資料相談・情報提供	図書委員会の主体的活動を支援したか。	3.3	24.2	72.7	3.0	6.1	1.4
寮務部	主体的図書委員会活動を推進する。 ・班ごとの諸活動支援 ・他とのコラボ企画推進	幅広い視野に立ち、資料の選定・収集に努めたか。	3.3	27.3	63.6	3.0	6.1	1.4
	多角的・長期的視野で資料の選定・収集に努める。	視聴覚教材の管理・点検に努め、授業・行事等において機材が支障なく使用できたか。	3.0	21.2	51.5	15.2	10.9	1.4
	視聴覚教室・機器の円滑な利用を支援する。	視聴覚教室・周辺機器の環境整備に努めたか。	3.2	18.2	72.7	30.6	6.1	1.4
寮務部	寮生が自主的・自立的な集団生活ができる態度の育成を目指す。 ・基本的生活習慣を育成する。(挨拶、清掃、整理整頓、時間の厳守等) ・規則・規律を遵守し、仲間と協力し、お互いを思いやった生活ができるよう支援する。	挨拶を推進する指導ができたか。	3.2	18.2	66.7	15.2	1.4	1.4
	コミュニケーション豊かな家庭的雰囲気あふれる寮づくりを目指す。 ・寮生との面談や親睦会等を通し、心地よい人間関係を築く。	積極的に寮生とコミュニケーションをとったか。	3.2	15.2	66.7	15.2	1.4	1.4

平成25年度 学校評価（教職員による自己評価）(34名回答) NO.2

	重点目標	評価項目	平均	十分できている (%)	だいたいできている (%)	やや不十分である (%)	不十分である (%)	わからない (%)
義務部	寮生が学習に意欲的に取り組めるように積極的な支援を行う。 ・自習時間の巡視や学習指導を積極的に行い、学習習慣の充実を図る。	自習時間の巡視を行い、学習を促したか。	3.2	15.2	69.7	15.2	9.1	
	寮生が健康で、明るい生活ができる環境の整備に努める。 ・衛生管理を徹底し、食中毒などの事故を防ぐ。 ・大掃除、部屋替え、日直、日々の清掃活動等を通じ寮生に自主的な環境整備に努めさせる。	清掃指導など環境整備に努めさせる指導ができたか。	3.0	15.2	60.6	15.2	9.1	
人権同和教育部	人権を大切にする教育を推進する。 ・人権同和教育推進委員会を核とする推進体制を機能させる。 ・広報活動を充実させ「人権同和教育部だより」を発行する。	L H R指導などを通じて、生徒の人権意識を高めていく取り組みができたか。	3.1	9.1	81.8	9.1		
	人権について学ぶ機会を充実する。 ・L H Rの計画・実施・評価のあり方を検討する。 ・校内研修会をはじめ校外の研修会へも参加を促す。							
校外ないし校種間の連携をはかる。 ・小中学校との連携をもとに系統的な人権同和教育の実践に努める。 ・ふれあい会館との連携など地域との交流を進める。	教職員研修やL H R参観などを通じ、教職員が人権意識を高めていく取り組みができたか。	3.0	6.1	84.8	9.1			
1年部	豊かな人間関係の形成を支援し、社会性と他者のために行動する姿勢を育成する。	日々の生活や学校行事などを通じて、生徒同士の人間関係形成を支援し、進んで掃除などに取り組む姿勢を作ることができたか。	3.0	8.1	66.7	9.1	18.2	
	基本的生活習慣と自立的生活態度を育成する。	安易な遅刻・欠席をせず、規則正しい生活を送る姿勢をつけることができたか。	3.2	18.2	69.7	12.1		
2年部	学習習慣の確立を支援する。	毎日継続的に予習・復習に向かう姿勢を育成できたか。	2.8	8.1	48.5	18.2	27.3	
	進路意識の高揚を支援し、幅広い視野の獲得を支援する。	中学時までの視野以外の進路目標を提示することができたか。	3.0	8.1	39.4	6.1	48.5	
3年部	学年会内外の共通理解を測る取り組みを行い、生徒理解を深めるとともに具体的に個々の生徒を支援する。	生徒情報の共有などを通じ、各部活動などと連携して生徒に必要な支援を行えたか。	3.0	9.1	66.7	9.1	15.2	
	自立的生活習慣の確立を支援する。	自立的生活習慣の確立を支援することができたか。	3.0	8.8	67.6	11.8	11.8	
人権を尊重し、豊かな人間関係を形成することを支援する。	人権を尊重し、人間関係を形成することを支援することができたか。	3.0	11.8	87.6	8.8	11.8		
	学習習慣の確立と学力の向上を支援する。	学習習慣の確立と学力の向上を支援することができたか。	2.9	2.8	70.6	8.8	17.6	
面談を通じ、生徒一人ひとりに応じた進路支援を行う。	面談を通じ、生徒一人ひとりに応じた進路支援を行えたか。	3.2	14.7	52.9	32.4			
	各分掌・教科との連携を強化し、生徒理解を深めることができたか。							
各分掌・教科との連携を強化し、生徒理解を深める。	各分掌・教科との連携を強化し、生徒理解を深めることができたか。	3.0	8.8	67.6	2.9	20.6		
	学力向上と進路実現の支援	学力向上と進路実現の支援ができたか。	3.0	9.1	69.7	9.1	12.1	
自律的生活習慣の確立の支援	自律的生活習慣の確立に支援ができたか。	3.0	8.1	72.7	6.1	15.2		
	人権尊重の態度と調和のとれた心身の健康の育成	人権尊重の態度と調和のとれた心身の健康の育成が図れたか。	3.0	3.8	81.8		15.2	

平成25年度 生徒自身による自己評価（全体：422名回答）





仮設校舎での生活

総務部長 大野陽太

今回の校舎改築に伴つて、仮設校舎の建設工事が始まつたのは七月でした。グランドで建設工事は進んで行き、九月には建物はほぼ完成し、十一月に周囲の舗装工事も出来上がりました。

私自身は過去にも仮設校舎での勤務経験があつたので、ある程度の予想はついていましたが、完成後に内部を見学すると予想以上と言つてよい建物で、「広いなあ」というのが実感でした。十年一昔と言いますが、十年前に経験した仮設校舎と比較して進歩していると感じました。

今回、仮設校舎に教室が移動したのは、二・三年生で、終業式の日と冬季補習の最終日に移動しました。今までの一棟と比較すると教室の面積が広いだけでなく照明の数も多く壁も白いので、明るく開放感のある教室で、思わず歓声を上げた生徒もいました。

しかし、実際に使用してみると、暖房が全てエアコンのため、教室が非常に乾燥し、「目が乾く」、「のどが渴く」との訴えがあり、生徒の健康面に配慮して教室には加湿器を置いて対応しました。

また、生徒の動線が長くなつたことに加えて、四つの棟がある仮設校舎間や従来の校舎を結ぶ通路には所々に扉があり、大勢が一度に移動するときは少し窮屈に思えることもあります。これはやむを得ない事だと思います。

いずれにしても、当分の間は仮設校舎が生徒たちの学舎となることは間違いないので大切に使つてほしいと思います。



岩谷選手会館

改修前



改修後

学園スナップ



寒稽古



今年度の大きな出来事に、岩谷選手会館の改修がありました。岩谷会館といえば、私自身、二人の子どもの入寮式をして頂いた場所であり、また子どもたちにとっては放課後に友人と共に勉学に勤しんだ思い出深い場所です。これからも多くの生徒の皆さんにとって思い出多い場所となることでしょう。これから卒業される三年生の皆さんには、大田高校での思い出を胸に、今後それぞれの将来に向かつて遙しく歩んでいかれることを祈っています。最後に、これまで『泰山木』の編集に関してご協力いただいた方々に深く感謝いたします。

(黒川、渡邊)

編集後記

保育実習

